

指導者 HRT ○○ ○○
 AT ○○ ○○
 ALT ○○ ○○

行ってみたい国を紹介しよう

●目標

- 1 世界の国の位置、有名なものを知り、いろいろな国への関心を高める。
- 2 ヒントをはっきり伝わるように出題したり、積極的に友達のカイズを聞いて答えたりする。
- 3 英語を使って、自分の行ってみたい国について理由を付けて発表する。

●単元設定の理由

- 本学級の児童は、1年生から英語活動を経験している。指導形態や時数は様々だったが、毎年度 ALT と一緒に学習している。本年度は、年間20時間、月2時間実施している。6年生の1学期は、「もし、外国の人が来たら・・・」という大テーマで、自己紹介や「どこから来たか」を尋ね答える会話、福岡を紹介する内容の活動を行っている。2学期は色や形に注目しながら、国旗クイズをしたり、オリジナル旗を作ったりして、世界の国旗の意味などを知る活動をした。用意された活動はするが、自らコミュニケーションをとることは消極的で、表現することを苦手としている児童が多い。4年生から年に1回は、アジアやヨーロッパ・アメリカの複数の人たちと交流する機会があり、異文化の人に興味を持ったり、異文化を知って楽しんだりしている。
- 本単元では、自分や友達の行きたい国やその理由を発表することで、様々な国々についての興味・関心を深めたい。また、その過程で「どこの国？」クイズをするためのヒントを作ったり、クイズに答えたりすることで、いろいろな国の有名なものを知らせたい。さらに、クイズを出し合うことで、コミュニケーションを図る楽しさを体験させたい。
- 指導にあたっては、第1時で、教師が問題出題者となって、3ヒントゲームで、10ヶ国の「どこの国？」クイズを行い、答えになった国の位置を世界地図で確かめるようにした。次に、児童による「どこの国？」クイズをするために出題する国を決め、自信持ってクイズを出すことができるように、ペアを作ってヒントを準備させた。ヒントは、地図帳やインターネット、図書の本で調べ、教師は児童が準備したヒントをチェックした。第2時で、児童による「どこの国？」クイズを行う。前半と後半でクイズを出す側と答える側に役割を交代する。クイズに必要な英語表現や絵や写真等の非言語コミュニケーションも入れながら楽しく活動できるようにする。第3時では、「どこの国？」クイズで知った国の中から、行ってみたい国を選び理由を付けて発表する活動を設定し、英語を使って理由を堂々と伝えることで、発表の達成感を味わわせたい。

●単元の構成・評価規準（全3時間 ○は本時）

時	ねらい	活動／評価規準	扱う表現
1	世界のいろいろな国の位置や有名なものに関心をもち、「Hint No.1, ~」を使って尋ねるクイズを作る。	♪ チャンツ「ドイツじゃなくて Germany」 ○活動名 「3ヒント国クイズ」 「どこの国？」クイズ作り クイズにする国について調べ活動をする ことで、いろいろな国への関心を高める。	Hint No. 1 (2・3), ○○ (△△・◇◇). What country is it ? The answer is ? It's <u>country</u> . <u>country</u> is here.. That's right. / wrong.
②	「どこの国？」クイズで、積極的に尋ねたり答えたりする中で、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。	♪ チャンツ「ドイツじゃなくて Germany」 ○活動名 「どこの国？」クイズ ヒントをはっきり伝わるように出題したり、積極的に友達のクイズを聞いて答えたりしている。	Good. / O. K. / I see. It's easy. / defficult. Once more please.
3	自分の行ってみたい国について、理由を付けて発表する。	♪ チャンツ「ドイツじゃなくて Germany」 ○活動名 「行ってみたい国」の発表 自分の行ってみたい国について、理由を付けて話している。	I want to go to <u>country</u> . <u>country</u> is here.. I want to see (play / eat / drink / speak) ~. I like ~. Me too. / Really.

●本時目標

「どこの国？」クイズで、積極的に出題したり答えたりすることで、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。

●本時指導の考え方

本時は、前時から準備したヒントを使って「どこの国？」クイズを行う時間である。ヒントとして、英語や非言語である絵や写真を使い、積極的に出題したり答えたりする。「どこの国？」クイズを通して、いろいろな国の位置や有名なもの等を知り、友達とコミュニケーションを図る楽しさを味わわせたい。「どこの国？」クイズでは、前半と後半でクイズを出す側と答える側に役割を設定する。ヒントを出し合う中で、“It's easy.” “I see.” “That's right.”等の英語表現やボディランゲージ等をして受け答えをしながら、コミュニケーションを図ることができるよう支援していく。ALTのコーナーも設け、ALTのクイズに答えたら、サインをもらえるように仕組み、積極的にALTと話をするように促す。本時でいろいろな国のことを知った後、次時では、英語を使って、自分の行きたい国について発表をする。

●準備

教師	クイズに使うヒントカード、世界地図、ワークシート（ボード付）、えんぴつ
児童	クイズに使うヒントカード等、名札

●展開

Procedure	Students	HRT	ALT	AT
Greeting (2 min.)	・はじめのあいさつをする。 Hello. Mr. Thomas. I'm fine.	Let's start today's lesson.	Hello. How are you?	Hello.
Warm up (5 min.)	・質問のある児童は挙手。 指名されたら質問する。 ・チャンツをする。	・一緒にチャンツをする。	・ answer about student's question. OK. Let's Chant.	・世界地図掲示。 ・一緒にチャンツ。 地図上で国を指す。
Aim (1 min)	・めあてを確かめる。 Aim 「どこの国？」クイズをして、いろいろな国について知ろう。	Today's aim is		
Review (5 min.)	・前時の表現を確かめる。	Do you remember the last lesson ?	Let's practice.	・間違っている時は “That's wrong.” もう一回聞きたい時は “Once more, please.” も確かめる。
Activity (22 min)	・「どこの国？」クイズをする。 ①前半と後半に分かれる。 ②クイズを出す側は、自分のコーナーで出題する。 ③クイズを受ける側は、ワークシートを持ってクイズに答え、答えたらサインをもらう、各コーナーを回る。 ④ ALTのコーナーには必ず行くようにする。 ⑤前半・後半役割交代する。	Let's play 「どこの国？」 quiz game. ・クイズでのポイントを説明する。 ①はっきりした声で出題する。 ②答える人は3つのヒントをしっかりと聞いてから答える。 ③はじめと終わりは顔を見てあいさつする。	Let's play a quiz game. Take turns at 10min shifts. Last 2 minutes. Stop. / Switch. ・ quiz at Alt's corner. ・ sign.	・クイズのルールをデモンストレーションしながら説明する。 ・ time - keeper. ・ 10分交代の指示を出す。… Last 2 minutes. Stop. Switch.
Comment (5 min.)	・ワークシートの振り返りチェックを書き、今日の活動の感想を言う。 ・ALTやATの話聞く。	Please make a comment. ・次時の活動について知らせる。	Today's lesson was ~.	・クイズのポイントについて、感想を言う。
Closing (5 min.)	・ALTと握手をしてあいさつをする。 See you. Thank you, Mr. Thomas. Thank you, Tomita sensei and Hara sensei.	That's all for today's lesson. / Let's say to Thank you to Mr. Thomas and Tomita sensei.	See you next time. Good by. * eye to eye. * say clealy. * smiley.	Thank you. See you.

【1 / 3時】

●本時目標

世界のいろいろな国の位置や有名なものに関心を持ち、「Hint No. 1, ~」を使って尋ねるクイズを作る。

●本時指導の考え方

本時は、教師が世界のいろいろな国の位置や有名なものをヒントにした「どこの国？」クイズをすることで、クイズで使う英語表現を知らせる。教師の出題のように、児童が興味のある国を選んで、ヒントを作るために調べ活動を行う。調べるときは、児童が持っている地図帳、図書の本、インターネットを使ったり、自宅にあるみやげ品等を持ってこることも良いように知らせている。英語や非言語である絵や写真を使って、児童同士で積極的に出題したり答えたりすることができるように、調べたヒントは、予め教師の方で正しいヒントになっているか、他の友達のヒントと重なっていないか等チェックをする。次時で、「どこの国？」クイズをすることを伝える。

●準備

教師 クイズに使うヒントカード、世界地図、地球儀、ワークシート（調べ活動用）、参考図書
 児童 クイズに使うヒントカード等、 地図帳、 名札、 筆記用具

●展開

Procedure	Students	HRT	ALT	AT
Greeting (2 min.)	・はじめのあいさつをする。 Hello. Mr. Thomas. I'm fine.	Let's start today's lesson.	Hello. How are you?	Hello.
Warm up (5 min.)	・質問のある児童は挙手。 指名されたら質問する。 ・チャンツをする。	・一緒にチャンツをする。	・ answer about student's question. OK. Let's Chant.	・世界地図掲示。 ・一緒にチャンツ。 地図上で国を指す。
Aim (1 min)	・めあてを確かめる。 Aim 「どこの国？」クイズのヒントを作ろう。	Today's aim is		
Presentation (5 min.)	・クイズで使う表現を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ALT : Hint No. 1, ○○. Hint No. 2, △△. Hint No. 3, ◇◇. What country is it? The answer is ? Students : It's country. ALT : That's right. Where is country ? A student : (country is) here.. Others : Good. / That's right. / OK. </div>		Listen.	・10ヶ国の絵を掲示。 ヒントを指し示す。 ・間違っている時は “That's wrong.” もう一回聞きたい時は “Once more, please.”も確かめる。
Practice (5 min.)	・ALTの発音を聞いて発話する。	Repeat after presentation.	Let's practice.	
Activity (20 min)	・自分の決めた国について、地図帳や図書の本、などを使って調べる。	・インターネットも使って調べることができることを知らせる。 ・クイズを面白くするために難しすぎも簡単すぎもないヒントを見つけることを助言する。	Let's research a country.	・調べるための図書を紹介する。 ・time - keeper. ・一人ではできない児童のヒント作りを一緒に行って、準備する。
Comment (3 min.)	・ALTやATの話聞く。	Please make a comment.	Today's lesson was ~.	・感想を言う。 ・次時の活動について知らせる。
Closing (4 min.)	・ALTと握手をしてあいさつをする。 See you. Thank you, Mr. Thomas. Thank you, Tomita sensei and Hara sensei.	That's all for today's lesson. / Let's say to Thank you to Mr. Thomas and Tomita sensei.	See you next time. Good by. * eye to eye. * say clealy. * smiley.	Thank you. See you.

【3 / 3時】

●本時目標

自分の行ってみたい国について、理由を付けて発表する。

●本時指導の考え方

本時は、前時の「どこの国？」クイズを通して、いろいろな国の位置や有名なものを知ったことを受けて、自分の行ってみたい国について理由を付けて発表をする時間である。自分の行ってみたい国を決めたら、“I want to see (play / eat / drink / speak)～. I like ～.”の表現を使って、理由を言えるようにする。発表では、同じ国を選んだ児童がまとまって発表できるように設定する。簡単な言葉や短い文でも、みんなの前で発表をすることは、自信をもつことにつながると考える。

●準備

教師 世界地図, 児童 地図帳, 名札

●展開

Procedure	Students	HRT	ALT	AT
Greeting (2 min.)	・はじめのあいさつをする。 Hello. Mr. Thomas. I'm fine.	Let's start today's lesson.	Hello. How are you?	Hello.
Warm up (5 min.)	・質問のある児童は挙手。 指名されたら質問する。 ・チャンツをする。	・一緒にチャンツをする。	・ answer about student's question. OK. Let's Chant.	・世界地図掲示。 ・一緒にチャンツ。 地図上で国を指す。
Aim (1 min)	・めあてを確かめる。 Aim 行ってみたい国を発表しよう	Today's aim is		・前時のクイズでいろいろな国のことが分かったことを想起させる。
Presentation (5 min.)	・ALT や AT, HRT のスピーチを聞く。 ALT (AT・HRT) : I want to go to ○○. ○○ is here. (pointing on the world map.) I want to see (play / eat / speak ...) △△. I like ◇◇.	speech. Listen.	speech. Listen.	speech. Listen. ・“Really.”“Me, too.” ”I see.” “Good job.” 等のあいづちや賞賛の表現を知らせ、使いながら聞く。
Activity (22 min)	・発表メモに行きたい国と理由を書く。 ・一人ずつ教室の前で、発表する。 ・全員に聞こえるような声で堂々と発表する。 ・友達の発表で良く聞き取れなかったときは、“Once more, please.”と言う。 ・“Really.”“Me, too.” “I see.” “Good job.” 等のあいづちや賞賛の表現を知らせ、使いながら聞く。	・発表メモカードに書いてもらい、集める。 ・発表するときと発表を聞くときの注意点を説明する。HRT から発表者を指名する。	The Country I want to Go to – Presentation.	・世界地図と指示棒を用意する。 ・同じ国の発表がまとめてできるように整理する。 ・賞賛の言葉や助言をする。“Good job.” “Exellent.” “Amazing.” etc.
Comment (5 min.)	・今日の活動の感想を言う。 ・ALT や AT の話を聞く。	Please make a comment.	Today's lesson was ～.	・感想を言う。
Closing (5 min.)	・ALT と握手をしてあいさつをする。 See you. Thank you, Mr. Thomas. Thank you, Tomita sensei and Hara sensei.	That's all for today's lesson. / Let's say to Thank you to Mr. Thomas and Tomita sensei.	See you next time. Good by. * eye to eye. * say clealy. * smiley.	Thank you. See you.